

● 最強の雪だるま、アックスとのたたかい
● ぼくは、冬休みに、雪だるまを作った。
● 完成して喜んでいると、とつぜん、雪だるまが
● 動き出した。
● 「な、何なんだお前は！」
● ぼくがさけぶと、雪だるまは答えた。
● 「おれさまはアックス、雪合戦の天才だ。」
● 「雪合戦？」
● 「そうだ、おれさまと勝負してみないか？」
● 「なんで？ぼくが君と勝負しなくちやならない
● の？ぼく、いそがしいから、あっち行ってて」
● ぼくがそう言うと、アックスはあせりながら、
● 「まあ、待て待て、こうしてはどうだろうか。
● もし、君が、おれさまに勝てたら、君の冬休み
● の宿題を全ておれさまがやってやろう。」
● 「本当に？そりやすごいや！やろうやろう」
● 「ふふふ、しかし、おれさまに勝てるかな？」
● ぼくは、アックスとルールのかくにんをした。
● どうやら、3回雪玉を相手に当てた方の勝ちと
● なるようだ。
● 「では、いくぜ、よういスタート！」
● アックスはものすごいスピードで雪玉を投げて
● くる、手もないのに一体どうやって雪玉を？
● よく見ると、アックスの体から雪玉がポンポン
● 飛び出して来るではないか。
● ぼくは、木にかくれた。そして、にやつく。
● ぼくはアックスに勝てる。そう確信した。続く

問い1 アックスは（ ）の天才

問い2 アックスに雪合戦で勝つと、ぼくにとって
どんなよいことがおこる

問い3 ぼくがアックスに勝つことを確信した理由
をよそうして書いてみよう。